

国立国語研究所学術情報リポジトリ

対象を示す格助詞性複合辞とそれに対応する中国語
表現：日中対訳コーパスを利用して

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2024-11-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 丁, 文静 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/0002000384

対象を示す格助詞性複合辞とそれに対応する中国語表現 -日中対訳コーパスを利用して-

丁 文静(國學院大学)

Compound Case Particle Expressions for Indicating the Object and Their Corresponding Chinese Expressions - using a Japanese Chinese parallel corpus -

Ding Wenjing(Kokugakuin University)

要旨

本稿では、日中論文抜粋コーパスを用い、対象を表す格助詞性複合辞の用例と、それらに対応する中国語表現を分析し、意味の分類を整理し、構文要素との関連性を考察した。その結果は、対象を示す格助詞性複合辞は、意味的に中国語の介詞と類似しているが、語彙的には1対1の対応関係にはない、一つの同じ介詞は二つ以上の複合助詞に対応する場合がある。「動作の対象」を示す際には、「に対して」「について」「に関して」「に向けて」のいずれも使用可能である。それに対応する中国語表現としては、“对”“对于”“针对”“给”“向”が観察された。「に対して」「について」「に関して」はいずれも中国語の“对”“对于”“针对”に対応し得るが、「に対して」は対象との対立関係や働きかけの方向性を強調する傾向がある。一方、「に関して」「について」は、働きかける対象の範囲や内容に焦点を当てる傾向が見られた。

1. はじめに

「に対して」「にとって」のような連語が全体で助詞相当の機能を果たすものは、格助詞性複合辞と呼ばれる。そのうち、「に対して」「について」「に関して」「にとって」「に向けて」「に向かって」は、いずれも対象を示すことができる。日本語教育では、格助詞性複合辞は中級レベルで導入することが多いが、上級に達しでも、使いこなすことが難しい語である。

従来の研究は、各格助詞性複合辞を注目し、文法的位置付け、述語の意味、類義表現の相違などの切り口からアプローチが進められてきた。しかし、意味論的な観点から触れていても、学習者が意味論的なルールに対応しながら文を産出できる場合と対応できない場合もあるため混乱が起り、実用化は十分ではない。中国人日本語学習者は、初級から中級にかけて、日本語で表現する際に、一旦、中国語で考えた内容を日本語に翻訳するという流れで日本語の文を産出する傾向がある。“对”“向”“关于”のような漢字の母語干渉があり、特に「について」「に関して」「に対して」の区別が明確にはできない。日本語学習者が抱えている問題の特定し、誤用に陥りやすい、使い分けに関する理解を深めることが可能であれば、指導法の参考として有益であると考えられる。

2. 対象を示す介詞に関する先行研究

対象を示す中国語の介詞には、“对”“对于”“给”“向”“针对”“为”など多数ある。以下【表1】に辞書で記述している対象を示す格助詞性複合辞に対応する中国語表現をまとめる。

【表 1】対象を示す格助詞性複合辞に対応する中国語表現

辞書	对, 对于	针对	向	给	为
講談社中日辞典 第3版(2010)	「にとって」 「について」	-	「に対し て」	「に対し て」	-
中国語虚詞類義 語用例辞典 (1995)	「に対して」 「にとって」 「について」	-	「に対し て」	-	「に対し」
初学者も使える 中国語虚詞辞典 (1988)	「に対して」 「に関して」 「にとって」	-	「に対し」	「に対し て」「に向 かって」	「に対し て」
中日辞典第3版 (2003)	「に対して」 「について」 「にとって」	「に対し て」	「に対し て」	「に対し て」	「に対し て」

また、それに関する代表的な研究としては、方(2017)、馬(2003)が挙げられる。

馬(2003)では、“对”の意味を「対象目標」「対処関係」「関連関係」「方向」¹の四つに分類している。方(2017)²では、対象を示す中国語の介詞“对”は以下の用法があると述べている。

- I. “引进动作行为的具体方向”（活動、行為の具体的な方向を導入する）
- II. “引进动作行为的对象或目标”（動作、行為を導入する対象または目標）
- III. “引进抽象动作行为的对象”（抽象的な動作行為を導入する対象）
- IV. “对所在句子的谓语动词可以是表示心理活动的动词成分或形容词成分”（述語には心理活動を表す動詞か形容詞）
- V. “做话题标记，放在句首”（トピックマークとして文頭に置く）
- VI. “对～来说/来讲/而言，表示从某人或某种角度来看带问题，相当于站在某个立场来看待问题”（「にとって」、誰か、または特定の視点、特定の立場から問題を見る）

格助詞性複合辞は中国語の介詞との対応は意味的に似ているが、文法、文脈などによって、同じ格助詞性複合辞でも対応する中国語表現が多く存在することが見られる。本稿では、対象を示す格助詞性複合辞を絞り、それに対応する中国語の介詞との対応を対照的に考察する。

3. 「対象」を示す格助詞性複合辞とそれに対応する中国語表現

本稿では、対象を示す格助詞性複合辞を日中論文抜粋コーパス(以下 ASPEC-JC)Ver.1.0 から抽出する。全てのデータの各行には、文 ID、日本語文、中国語文という形式で対訳文が格納されている。検索対象は、「日本語原文」に出現する「に対して」「について」「にとって」「に関して」「に向けて」「に向かって」の用例、また「中国語訳」に出現する

¹馬(2003)では、「方向」と「関連関係」を表す“对”は対応できない」と述べている。

²方(2017)は中国語で、訳文は著者による。

“对”“针对”“对于”“向”“给”“为”の用例も検索した。抽出した用例を目視で確認し、日本語原文、また中国語表現に対応させながら、意味の分類を整理し、構文要素と関連付けを考察した。

対象用法では、積極的な行為、主張、動作性が見られる。格助詞性複合辞「に対して」「について」「にとって」「に関して」「に向けて」「に向かって」は、文構造が似ている。また、行為や働きかけがある領域の複数を対象としており、基本的にはその領域の一つ、あるいは少数派に対して視点が向けられるという点が類似している。以下の節から、対象を示す格助詞性複合辞を取り上げ、用例を示しながら、中国語との対応を行う³。

3.1 格助詞性複合辞「に対して」「について」と“针对”

“针对”について、方(2017)では、“主要介引所要谈论的对象，多为某一抽象的对象，并在行为上（包括言语行为）对该对象有所处置。（主に議論の対象、抽象的な対象が多い、行為上（言語行為も含める）でその対象向け対処を行う。）针对某种情况/问题而采取某种应对措施。（ある状況・問題に対して何らかの対応をとる。）搭配的抽象名词有“对象，特点，制度，矛盾，状况”等。（連語となる抽象名詞には「対象、特徴、制度、矛盾、状況」などがある。）

「について」について、柏崎(2007)では、「動作あるいは感情・感覚の作用が対象に向かっていくことを表す。そこで、後続の述語は「対象にどのような態度を取るか」、あるいは「対象とどのような関係性にあるのか」を示す動詞、また「感情・感覚」を示す動詞や形容詞が多い。対象に積極的に働きかけることを示す「に対して」と言い換えも可能」と述べている。「に対して」について、横田(2007)では、「「に対して」を含む文はその接続・意味の観点から大きく二つに分けられる。1つは、「対して」が人の行為と態度の対象、また、ものが反応する時の対象を示す場合である。もう1つは、2つの事柄を比べてその関係（対比、照応、割合、位置）を示す場合である」と述べている。

庵(2017,58-63)では、「について」「に対して」ともに“针对”に訳すことができると述べている。中国語では、“针对”は、前置詞として使われる。動作・行為の対象や方針・支持・政策・計画などに的を定め焦点を合わせて対処する。“针对…情况”「…の状況にねらいをつけて」「针对…特点」「…の特長に焦点を合わせて」「针对…问题」「…の問題に対処して」「针对…缺点」「…の欠点に対処して」などのような表現がある。“针对”に“对”があるので、中国人日本語学習者が“针对”を表現したい場合に「について」よりは「に対して」を使う傾向が見られる。

以下用例(1)(2)では、格助詞性複合辞「について」は行為の向かう先である動作の対象を表す。行動を起こすことができる人、あるいはその集合体であるのは主体となり、行為の対象は「今後の方向性」「河川横断施設」、動作動詞「考察する」「推進する」が述部に

³機械翻訳により動詞の結合価によって、構文上、「に対して」「について」「に関して」「にとって」「に向けて」「に向かって」を必要とする動詞と必要としない動詞がある。また、発話動詞、思考動詞と感情表現を表す動詞などは用いられやすいと考えられるが、本稿では、実際の用例に出現する例を中国語の意味に合わせながら考察してみる。また、本稿では、連用形を考察対象とし、中止形「に對し」、「に對し」、連体用法「に對する」「に對する」、接続表現「のに對し(て)」「それ(に)對し(て)」、また「について(は・も)」「に對して(は・も)」「にとって(は・も)」「に對して(は・も)」は考察対象外とする。

使われている。主体が行う行為「考察する」「推進する」の向かう先が「方向性」「河川横断施設」ということを表す。中国語“对”でも対応できるが、“针对”の方が焦点を合わせる意味が含まれる。

- (1) 都市空間におけるこれらの意義や課題，今後の方向性について考察した。/针对这些在城市空间中的意义和课题和今后的方向性进行考察。

(test.txt:JST_JC_ENVI-abst-06A0000432-par1-sen3)

- (2) モデル事業は，堰，床止，ダム等の河川横断施設について，魚道の設置，改善等の魚類の遡上環境の改善を計画的，試行的に推進し。/样板工程事业对堰堤、河床加固工程、水坝等河流截断设施有计划的、尝试性的推进着在鱼道设置、改进鱼类回游环境的改善工作。

(dev.txt:JST_JC_ENVI-abst-05A0930032-par1-sen3)

「について」について、柏崎(2007)では、「について」の述語に言語・表現活動が見られると述べている。高橋(1995)では、「について」はある範囲を表すとき、“对”は“关于”で代替しても基本的な意味は変わらない」と述べている。用例(3)(4)(5)では、述語に言語・表現活動が見られ、対象は「環境教育」「種子散布」「結果」、動作が行われる目当て、あるいは一定の範囲が限定される場合、この一定の範囲は具体的な物も抽象的な物(例えば、話題、問題、事柄等)も含まれる。中国語表現は“关于～进行解说”“关于～进行探讨”“关于～进行概论”に対応しても違和感がない。また、「について」の語源は中国語の“就”のため、“就～进行解说”“就～进行探讨”“就～进行概论”に対応しても基本的な意味が変わらない。しかし、用例(5)の述部は対象に焦点を合わせて対処する動作や行為を表すため、“对”は“关于”で代替できない。

- (3) 房総半島をフィールド・ミュージアムとしての環境教育についての活用と実践につき解説した。/本篇针对将房总半岛当作自然博物馆灵活应用和开展实践活动的情况进行了解说。

(devtest.txt(162):JST_JC_ENVI-abst-06A0715506-par1-sen2)

- (4) 種子散布について検討した。/针对种子散布问题进行了研讨。

(dev.txt:JST_JC_ENVI-abst-05A0792269-par1-sen3)

- (5) 輸入業者の聞き取り調査を実施した結果について概説した。/概述了对实施进口业者实施的调查的结果。

(test.txt(26):JST_JC_ENVI-abst-06A0314392-par1-sen5)

以下の用例(6)(7)では、格助詞性複合辞「に対して」で「動脈性出血」「左気管支動脈食道枝」「実問題」に焦点を合わせ、目安としての意味を表す。述語には「施行する」「機能する」のような対処関係を表す語との共起が見られ、言外には選択肢が複数ある可能性があるにもかかわらず、「出力するスコア」「動脈性出血」は意図的にターゲットとして選択されたものである。用例(6)2番目の格助詞性複合辞「に対して」については、「下部食道の動脈性出血」に術を施行したのに失敗したため、他の策で対応するという意味を表しているため、“针对”ではなく“对”で対象との対処関係が表されている。

- (6) 今回，下部食道の動脈性出血に対して内視鏡的止血術を施行するも完全止血されず，左胃動脈および左気管支動脈食道枝に対して経カテーテル的動脈塞栓術(TAE)を施行し止血しえた。/这次针对她下部食道的动脉性出血进行内窥镜的止血手术也不能

完全止血，于是对左胃动脉及左气管支动脉食道管进行经导管动脉塞栓术（TAE）才把血止住了。

(devtest.txt:JST_JC_MED-abst-06A0940536-par1-sen5)

- (7) このような実問題に対してMSGPが有効に機能することがわかった。/由此我们可以知道，针对这类实际问题MSGP发挥有效的性能。

(test.txt(1373):NICT_JC_SP-21_176-sec6.-par1-sen233)

張（2001）は、学習者の頭では中国語の“对”がイコール日本語の「に対して」となり、「について」の一部の用法が中国語の“对”に対応していること、さらに「について」の一部が「に対して」と互いに置き換えられる関係にあることが誤用の原因と述べている。本稿の調査では、「について」「に対して」はいずれも中国語の“对”“针对”に訳することができるが、以下用例(8⁴)(9)のように、「に対して」を用いるとき、行動の向かう先である対象を表し、働きかけの方向性を強調するが、「について」を使用するとき、働きかける対象の範囲、内容に偏る傾向が見られ、後続に「解説」「概説」などの言語行為も見られる。

- (8) 吉田さんの主張に対して山田さんは批判的だ。/针对吉田的主张，山田持批评态度。

- (9) 今日の授業でバブル経済について議論した。/今天的课上针对泡沫经济进行了讨论。

3.2 格助詞性複合辞「に関して」「に対して」と“对”

以下の用例(10)では、格助詞性複合辞「に対して」を使い、動作や行為のおよぶ対象を表す用法で、述部に「攻撃を行う」「攻撃する」のような内容が見られ、対象との対立関係を示し、方向を強く強調している。本稿での調査では、対立関係格助詞性複合辞「に対して」のみ見られる。中国語表現“对”と対応し、“对于”が使えない。“对”の機能は、意識上の受け入れを引き出すため、中国語に訳する際に、“加以”“给予”“进行”などのような形式動詞が必要になる。「AはBに対して高く評価した。/“A对B给予了高度的评价”（＝高い評価を与えた）、また「Aに対して(の)分析をする」/“对A加以分析”も同様である。用例(5)では、“对～进行攻击”が見られる。

- (10) 防御前と防御後のプログラムに対して攻撃した。/对防御前和防御后的程序进行了攻击。

(devtest.txt:NICT_JC_SP-IPJSJ-JNL4312053-sec7.-par1-sen170)

主体は心や意志をもたないモノであり、主体であるものに反応、作用を表すことになる。行為者が非行為者に作用・影響を与えるというパターンがよく見られる。以下の用例(11)(12)では、「影響を及ぼす」「影響力を持つ」のような相手に働きかけを表す語との共起が見られる。

- (11) その工事期間中に周辺の生活環境に対してさまざまな影響を及ぼす。/其施工期间会对周边的生活环境造成各种各样的影响。

(dev.txt:JST_JC_ENVI-abst-00A0770289-par1-sen2)

- (12) 分類に対して強い影響力を持つ項目。/对分类具有很大影响力的项目。

⁴用例(8)(9)は庵功雄（2017）からの引用で、下線は筆者。

(dev.txt:NICT_JC_SP-IPJSJ-JNL4506022-sec5.-par1-sen97)

「に関して」は、「について」との意味用法が似ているが、柏崎(2007)では、「文全体のテーマを大きく提示し、その関連で様々なことを自由に述べる」と述べている。彭(2019)は、「日本語の『に関して』は話題を表すが、『に対して』は対象を表すと述べている。ただし、中国語の“关于”と“对于”はいずれも話題を表すことができるが、中国人母語話者は中国語の“关于”と“对于”の違いを考えていない、またわからない場合がある、いわゆる母語の干渉により、『に関して』と『に対して』をいずれも話題を表すのだと思われてしまう」と述べている。また劉(2004)では、「日本語の複合助詞と中国語の介詞は全て語彙的に一対一ではなく、一つの同じ介詞は二つ以上の複合助詞に対応する場合がある」とし、“对于”は「に対して」と対応するだけでなく、「について」「に関して」にも対応する」と述べている。本稿の調査では、「に関して」は「対象」を表す格助詞性複合辞に対応する中国語表現は“对”のみ見られる。

「に関して」は「対象」を表すのに、中国語の表現にはバリエーションが少なく見られるが、以下の用例(13)では、格助詞性複合辞「に関して」の述部では言語表現「意見交換を行う」が使用され、中国語意味では“对”が見られる。また、以下の用例(14)(15)では、動作が行われる目当て、あるいは一定の範囲に限定される場合、この一定の範囲は具体的な物「実験・考察」も抽象的な物「責任」も含まれる。中国語表現では“对”となる。用例(13)(14)の格助詞性複合辞「に関して」は、格助詞性複合辞「について」に置き換えられるが、中国語の表現は変わらない。用例(15)のテーマは用例(13)(14)より大きな、周辺的な話題「環境」である。また後続の文は格助詞性複合辞「について」具体的な内容ではなく、広がりを持つ性質があるため、格助詞性複合辞「に関して」は「について」に置き換えられない。

(13) 開発・エネルギー安全保障、技術開発・移転、クリーン開発メカニズム、適応の4テーマに関して意見交換が行なわれた。/对开发及能源安全保障、技术开发及转让、清洁能源发展机制、适应性等4个主题进行了意见交换。

(test.txt:JST_JC_ENVI-abst-06A0770759-par1-sen4)

(14) 加えて、しりとりゲームにおける先手の勝率に関して実験、考察を行う。/在此基础上，对接龙游戏中先手的胜率进行实验与考察。

(test.txt:NICT_JC_SP-IPJSJ-JNL4310007-secabs-parabs-sen5)

(15) 高度成長を支えてきた工学及び工業の分野は環境に関して責任が問われている。/在追究支撑经济高速发展的工学以及工业领域对环境所担负的责任。

(dev.txt:JST_JC_ENVI-abst-06A0036195-par1-sen2)

本稿の調査では、格助詞性複合辞「に関して」「に対して」はいずれも中国語の“对”に対応することができるが、格助詞性複合辞「に対して」は、対象との対立関係、働きかけの方向性を強調する。格助詞性複合辞「について」「に関して」は、働きかける対象の範囲、内容に偏る傾向が見られる。また、述部には言語表現、働きかける対象への行為が見られる。しかし、格助詞性複合辞「について」と違い、格助詞性複合辞「に関して」の用例では、中国語表現“针对”が見られない。

3.3 対象を示す格助詞性複合辞「に対して」について

“給”について、方(2017)では、“本意是给予，当用在给予动词后，如“送给”“嫁给”“递给”“买给”等。”（本来の意味は「与える」「結婚する」「渡す」「買う」など、与えるという動詞の後ろに使われる。）“向”について、方(2017)では、“向+指人/団体名词”（向+人/グループ名词を指す），表示关涉的对象（関係性のある対象を表現する。）“相对于”について、方(2017)では、“相对于有介词用法。多用来引介相互对待的另外一个对象，“相对于 X 来说/来讲/而言 Y” 框架，多用于句首。”（前置詞の使用法があり、相手を紹介するのによく使われます。主に文の冒頭で使用される。）

まず、「A に対して B」で比較、割合を表す。以下の用例(16)では、A「縦割り教育」に対して B「超領域型」で A と B の比較関係を示す、中国語表現は“相对于～，～”となり、文頭に置く。また用例(17)では、「～は全体に対して～割合を占める」という形式で割合を示す。中国語表現には“～在～中相对占了～比例”となる。

(16) 専門領域の独立性を前提とする「縦割り教育」に対して専門の枠にこだわらない「超領域型」。/相对于以专业领域的独立性为前提的“直线教育”，还存在不局限于专业框架中的“超领域型”。

(devtest.txt:JST_JC_INFO-abst-03A0871261-par1-sen25)

(17) 仮説探索にかかるコストは I L P システム全体のコストに対して大きな割合を占める。/假设探索上花费的成本在 I L P 系统整体成本中相对占了相当大的比例。

(devtest.txt: NICT_JC_SP-17_153-sec6.-par1-sen180)

次に、格助詞性複合辞「に対して」で態度、感情を持つ人、またはその集合体である団体、機関は対象に対する態度、感情を表す。意志を持っている主体の感情と一緒に出現し、「に対して」の前に人か人に準ずる団体が見られる。

(18) 清暑益気湯は小児や高齢者に対して考慮されるべき薬剤の一つであることを示した。

/指出对于小儿和高龄患者，清暑益气汤是应该慎重考虑方剂之一。

(dev.txt:JST_JC_MED-abst-01A0496733-par1-sen6)

用例(18)は「～は～に対して～」である考え方を示す。述部には「考慮されるべき」のような対象に対する態度、感情を表す内容が見られる。対応する中国語は“～对于～是～”となる。用例(10)は“对于～来说～是～”の構文になり、ある人や事物から見た考え方を表すことができ、日本語学習者は格助詞性複合辞「にとって」を使う可能性がある。

(19) 向关心我的老师，同学表示由衷的感谢和诚挚的歉意。/サポートしてくれている先生、学生に対して、心から感謝すると同時に、深くお詫びする。(作例)

用例(19)では、「～に対して～」を使用し、述部に「感謝する・お詫びする」が見られ、“向～表达感情”を示す。“向”は、動作の方向性、また動作の対象を表す。“对”より

⁵文 ID は多くの場合、文書名、段落番号(par)、文番(sen)を組み合わせたものであり、これらの情報から段落を復元することは可能であるが、前述の通り翻訳対象が段落単位で選定されているため、文書全体を復元することはできない。

フォーマルな場面で感謝、お詫びなどを表すため、“向”を使えばポライト、誠意が高く示す。

高橋(他)(1995)では、「“向”には“跟/对”の意味で動作の対象を表す用法がある」とし、「“跟/对～報告～”に置き換えても、意味的には変わらない」と述べている。以下の用例(20)では、述部にはメッセージ的な内容「報告しなければならない」が見られ、ヒトを対象にメッセージを伝えるとき、中国語の表現では“～向～報告～”が対応できる。

以下の用例(20)(21)(22)(23)では、動作の対象「E P Aおよび州／部族政府」「専攻科生」「CHANCE」「OA問題」のようなヒト、団体、出来事に対し、述部には「報告しなければならない」「課す」「提供する」「適用する」のような言語動作、対処を表す述部が見られる。中国語の表現に“向”“给”“为”が見られる。いずれも動作の対象を導く、方向性を表すとともに、後に動作が来ることを前振りする。また“跟”も動作の相手を示す機能があるが、多少口語的な使い方があるため、本稿での調査では見られない。

(20) E P Aおよび州／部族政府に対して排出量および他の廃棄物管理量を報告しなければならない。/必须向E P A及州 / 部族政府报告排泄量及其他废弃物的管理量。

(dev.txt(847):JST_JC_ENVI-abst-02A0426861-par1-sen4)

(21) 専攻科生に対して二つの課題を課し。/给专业正规学生布置了两个课题。

(test.txt:JST_JC_ENVI-abst-05A0684254-par1-sen5)

(22) C Dソースのリファレンスを介してC DをC Dソースから取得し、CHANCEに対して提供する。/借助C D源的参考从C D源获取C D，提供给CHANCE。

(dev.txt:NICT_JC_SP-IPJSJ-JNL4302042-sec5.3-par1-sen116)

(23) OA問題に対してC M技術を適用する準備ができる。/能为在O A问题中运用C M做准备。

(test.txt(1356):NICT_JC_SP-20_437-sec4.2-par1-sen137)

4. 立場から見た評価を表す「にとって」

「にとって」について、張(2001)は、「にとって」と「に対して」に対応する中国語の表現はいずれも「对」か「对+アルファ」なので、同じ漢字表記を使う「に対して」のイメージが強いと述べている。金子(2007)は、「主題となる物事についての価値付け・意味付けの判断が、誰に当てはめた結果、出てきたものかを示す」と述べている。

以下の用例では、「(Xは)AにとってB」の形式でAの立場から考えてみると、XはBということを表し、考え方を提示したり、「その立場からみれば」という意味を表し、後にその立場から見た評価を表す表現が続き、相関するものとの関係を強調する。「にとって」を使用し、中国語の訳では、“对～而言”“对～来说”“对(于)～是～的”となる。

(24) 本インタフェースは聴覚障害者にとって有用なインタフェースとなることが確認された。/对障听患者而言，本界面是一种有用的界面。

(dev.txt:NICT_JC_SP-IPJSJ-JNL4311015-sec5.-par1-sen228)

(25) これらは情報教育にとって有用な知見であるというものと信じる。/相信可以说这些东西对信息教育是很有用的。

(test.txt:NICT_JC_SP-IPJSJ-JNL4512031-sec4.-par1-sen169)

(26) 本ソフトは両者にとって非常に有益であり。/该软件对于两家都是非常有益的。

(dev.txt:JST_JC_ENVI-abst-07A0216600-par1-sen6)

中国人日本語学習者の「に対して」「にとって」の混用がよく見られる。「にとって」は「その立場からみれば」の意味を表し、その立場から見た評価を表す表現が続くが、学習者は、しばしば、「に対して」の「態度・感情の対象」と混同し、誤用が生まれると考えられる。「対…来说」「対…而言」の形で主題を強調し、「…については」「…にとっては」の意となる。

5. 行為の向かう先である対象を表す「に向けて」

「に向けて」について、工藤(2007)では、「人・物・場所を行為の「対象」として設定したりすることにより、移動や行為の方向付けを行うものである」と述べている。グループ・ジャマシイ(2000)では、「に向けて」「に向かって」は、行為の向かう先である対象を表すとき、「に対して」と置き換えできると述べている。

以下の用例では、行為の向かう先である対象は「～は～に向けて～を+動作動詞」で表す。主体が行う行為は具体性を持つ動作動詞「送信する」「提案する」、中国語表現では“～向～+動作動詞”“针对～+動作動詞”が見られる。用例(27)(28)の対象とも人を表す語ではなく、「端末V」「理論的なモデル化」である。

(27) 端末 v は端末 s に向けて 経路切断検出メッセージを送信し。/ 终端 v 向 终端 s 发送路径切断检测信息。

(dev.txt:NICT_JC_SP-IPJSJ-JNL4510011-sec4.6-par1-sen129)

(28) そこで我々は p u s h b a c k 機構の理論的なモデル化に向けて、その挙動を一般的に評価できる方式を提案する。/ 因此我们针对 p u s h b a c k 机制的理论上的模型化，提出了能够总体评价其操作的方案。

(devtest.txt(1711):NICT_JC_SP-IPJSJ-JNL4508016-sec2.3-par1-sen6)

以上、中国語“对”は使用範囲が相対的に広く、格助詞複合辞「に対して」「について」「に関して」「に向けて」「にとって」とも対応できる。また、格助詞複合辞「に対して」「について」に対応する中国語の介詞多いが、十分にその介詞の表す意味を反映することのできない表現例も多く見られる。

“对于”“对”について、劉(2004)では、「ほとんど同じ意味であるが、“对于”は割合、総合的な言い方であり、正式、公的な場面に使用され、“对”は焦点を絞って、単一的な言い方であり、やや軽いと感じられる」と述べているが、対象との対立関係を示し、方向を強く強調している用例(5)では、“对”しか使えないため、“对于”“对”の違いは場面だけではなく、「に対しては」「に対して」の相違にもあると考える。本稿の調査対象外のため、今後の課題にする。

また、中国語介詞“跟”“拿”“把”について、香坂編著(1988)では、“拿”は「同「に対し」、処置の対象を導入する(口頭語多用)」と述べ、“把”は「同「に対し」、動作・行為の対象を導入する。=对, 拿」と述べている。また、“跟”について、中日辞典(第3版)(2016)「同「に対して」、動作の相手を示す」と述べ、方(2017)では、“动作有某一主题主动发出, 有“向”或者“对”的意思”(動作は特定の主体によって開始され、「～に向けて」または「～に対して」の意味がある。)本稿での調査では用例がないため、今後の課題にする。

6. まとめと今後の課題

以上、対訳コーパスにおける中国語に対応する対象を表す格助詞性複合辞を取り上げ、それに対応する中国語表現との比較をしながら考察を進めてきた。結果を以下【表 2】で示す。

【表 2】対象を示す格助詞性複合辞とそれに対応する中国語表現

格助詞性複合辞	中国語表現	意味用法
「に対して」	“相对于”	比較、割合の対象
	“对于” “向”	態度、感情の対象
	“对” “针对”	対立関係、対処関係の対象
	“给” “向”	動作の対象
	“对” “针对”	反応・作用・影響・働きかけの対象
「について」	“对” “针对”	動作の対象
	“针对”	メッセージの対象
	“对”	反応・作用・影響・働きかけの対象
「に関して」	“对”	動作の対象
	“对”	メッセージの対象
	“对”	反応・作用・影響・働きかけの対象
「に向けて」	“向” “针对”	動作の対象
「にとって」	“对~而言” “对~来说” “对(于)~是~的”	立場から見た評価

中国語に対応する対象を表す格助詞性複合辞では、中国語に訳す場合、個人的な解釈によって異なる部分があるのは当然のことではあるが、それを越えた多様さがあり、中国人日本語学習者に誤用を生じさせる要因の一つになっていると考えられる。本稿は、「対象」を示す格助詞性複合辞「に対して」「について」「に関して」「にとって」「に向けて」を全て抽出し、またそれに対応する中国語表現も取り上げた。中国人日本語学習者向けの教授法への試行錯誤に応用できれば幸いと考える。

【参考資料】

相原茂編集(2010)『講談社中日辞典』第3版,講談社
 庵功雄等 (2018)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
 グループ・ジャマシイ (2000)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
 高橋弥守彦 (他) (1995)『中国語虚語類義語用例辞典』白帝社
 方清明編(2017)《现代汉语介词用法词典》商务印书馆
 北京・商務印書館,小学館共同編集(2016)『中日辞典』第3版,小学館
 森田良行・松木正恵(1989):『日本語表現文型』アルク株式会社

【参考文献】

庵功雄 (2017)『一步進んだ日本語文法の教え方 1』 pp.58-63,くろしお出版
 柏崎雅世(2007)「について=表現・思考・感情などのテーマを示す-」『複合助詞がこれわかる』 pp.1-11

- 柏崎雅世(2007)「に関して-表現・思考・感情などのテーマを大きく示す-」『複合助詞がこれでわかる』 pp.13-23
- 金子比呂子(2007)「にとって-価値付け・意味付けの判断の「当てはめ先-」」『複合助詞がこれでわかる』 pp.65-77
- 工藤加名子(2007)「にむけて-移動や行為の「方向付け」-」『複合助詞がこれでわか』 pp.177-185
- 坂井厚子(1992)「「について」「に対して」の意味・用法をめぐって」『信州大学教養部紀要』 26,pp.139-152
- 彭玉全 (2019)「複合助詞「に関して」と「に対して」の誤用分析」『筑波日本語研究』 23号,筑波大学大学院博士課程人文社会系日本語学研究室,pp.15-25
- 馬小兵 (2003)「中国語の介詞“对”と日本語の複合格助詞「に対して」」『文教大学文学部紀要』 16巻2号 pp.1-44
- 張麟声(2001):『日本語教育のための誤用分析 中国語話者の母語干渉 20例』スリーエーネットワーク
- 張津一,田野,韓梅,毛劍楠,松本忠博(2022)「ニューラル機械翻訳のための日中対訳コーパスの構築」『言語処理学会・第28回年次大会発表論文集』
- 中澤敏明(2014)「アジア学術論文抜粋コーパス ASPEC」『AAMT ジャーナル「機械翻訳」』 No.56,pp.9-12
- 劉笑明,吉田則夫(2004)「に対して」「にとって」「について」「に関して」の意味分析--日中対照の立場から」『岡山大学教育学部研究集録』 125号,pp.101~106
- 横田淳子(2007)「に対して-行為・態度・反応の対象及び2つの事柄の関係を示す-」『複合助詞がこれでわかる』 pp.25-36

【利用したコーパス】

日中論文抜粋コーパス(以下 ASPEC-JC)Ver.1.0(2014/1/22)は、科学技術振興機構(JST)が所有する文献データベース抄録および電子ジャーナルサイト J-STAGE 搭載の和文論文を、各学協会から許諾を得て中国語に翻訳することで構築した対訳コーパスである。翻訳対象は抄録、もしくは本文の段落単位とし、全体として単語のカバー率が最大となるように選定されている。コーパスにおよそ医学、情報、生物、環境、化学、材料、農学、エネルギーデータが含まれる。(中澤(2014)より)